

金子氏は、25年12月の中国客が前年同月に比べて約45%減り、約33万人になったとも明らかにした。マイナスになるのは新型コロナウィルス感染拡大が続いていた22年1月以来。高市早苗首相の「台湾有事」を巡る発言に端を発する日中関

## 首相「必ず勝利」／野党、候補擁立急ぐ

## 衆院選へ与野党本格始動

自民党は20日午前、党本部で役員会を開いた。高市早苗首相（自民総裁）は衆院を23日に解散し、衆院選

を「27日公示、2月8日投票」の日程で実施することを踏まえ「短期決戦となるが、党一丸となり戦い抜

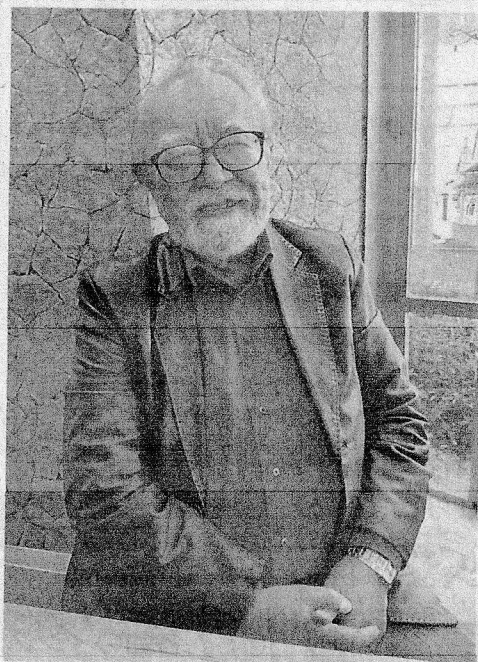
き、必ず勝利を収めたい」と強調した。野党も公約策定や候補擁立を加速。首相の解散表明から一夜明け、

ただけるよう全力を尽くす」と訴えた。選挙期間中も危機管理に遺漏なく対応するよう求めた。鈴木俊一幹事長が記者会見で明らかにした。

消費増税の期間や、企業・団体献金の在り方を含む「政治とカネ」問題などが主な争点となる。与党は時限的な食料品の消費増税の検討を掲げるのに対し、中道は「恒久ゼロ」で対抗する。

## 京出身評論家 玉木正之さん 古希過ぎユーチューブ挑戦

# 平和なスポーツ文化で骨太議論配信



スポーツ文化評論家の玉木正之さん（神奈川県鎌倉市）

京都市東山区出身のスポーツ文化評論家玉木正之さん（73）が、70歳を過ぎて動画投稿サイトYouTube（ユーチューブ）のチャンネルを開設した。時事的なスポーツ話題をテーマにマスメディアでは取り上げないような切り口で有識者とクロストークを展開する。批判でき

ないところにジャーナリズムはないと骨太の議論を戦わせる。スポーツは本来、社会の中でどうあるべきか。こうした視点に重きを置いた発信をしよう。と、2025年春にユーチューブ番組「TAMAKIのスポーツジャーナリズム」を始めた。週2回程度のペースで20〜30分

## 部内暴力・ウクライナ紛争…



玉木正之さんのユーチューブチャンネル「TAMAKIのスポーツジャーナリズム」

の番組を配信。同年6月から番組スポンサーが付き、多彩なゲストを招いている。

高校野球をテーマにした回では、部内の暴力事件で昨夏の甲子園大会途中に出場辞退した広島・広陵高をめぐる問題を取り上げ、背後に潜む論点をあぶり出した。これまでに2・6万回視聴され話題を集めた。

スポーツと平和をテーマにした番組が多いのも特色の一つ。昨秋の大相撲九州場所で初優勝したウクライナ出身の安青錦関の大関昇進に絡め、ウクライナでの紛争やスポーツ事情について大学教授と語り合った。

玉木さんは「マスメディアと同じテーマを取り上げながら、違う方向で論評をしていく。ゲストに招くのは試合の勝敗で騒ぐような人ではなく、ジャーナリズムの精神や感覚を持った人

にしている」と話す。

玉木さんの言論に通底するのは「権威主義」への否定だ。生家は祇園の電器店で、洛星中・高（北区）を卒業し東京大に進んだが中退。その後フリーで活動しペンの力で名を成した。メディア出演する際も京都のことばを大切に、歯に衣着せぬ発言で本質を説く。

SNSや生成AIの普及でジャーナリズムのあり方が揺らいでいる。それはスポーツの伝え方とも無縁ではなくなっている。玉木さんは「私は字を書く人間だから字を書くのが本来ではあるけれどスポーツ論を戦わせることができるジャーナリズムの場をつくっていきたい」と、ユーチューブ番組の意義を説く。（国貞仁志）

## 「勝敗よりジャーナリズム精神」テーマに

京都新聞 1/20 7 刊一面